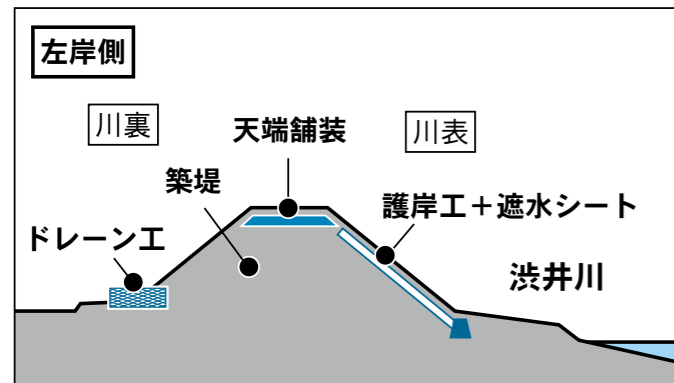


渋井川堤防の復旧状況

【図2】 渋井川堤防の復旧工法



【表1】

災害に強い川づくり緊急対策事業	
<b>水害が頻発する河川の解消に向けたハード整備</b> ○ 浸水被害の解消に向けた河川整備 ・河川改良事業 ・災害関連事業など	<b>円滑な避難に向けたソフト対策の充実強化</b> ○ 宮城県水防計画の改定 ○ 水位周知河川の追加 ○ 警戒避難情報の充実 ・テレメータ水位局増設 ・監視カメラの増設
<b>適切な維持管理による流下能力の確保</b> ○ 堤防緊急点検の実施 ○ 市街地などの重要区間などの河道断面の確保 ・堤防除草 ・堆積土砂撤去 ・支障木伐採の集中的な実施	
宮城県北部土木事務所 ☎0229-91-0731 宮城県土木部河川課 ☎022-211-3171	

この度の豪雨被害を踏まえ、県では国や大崎市と連携しながら、ハード、ソフト両面の対策を一体的に進める「災害に強い川づくり」に取り組んでいます。【表1】

県の管理する各河川では、堤防の緊急点検を実施し、必要な修繕、改修を行うとともに、川に堆積した土砂や流れを妨げる樹木の撤去を定期的に行って、適切な維持管理に努めます。

避難勧告発令の判断目安となる水位を、県から市に通知する「水位周知河川」として、渋井川を新たに指定し、インターネット上で水位を確認できるテレメータ水位局の整備を進めています。また、引き続き市内の各河川についても、水防体制の強化を支援します。

大崎市民の皆さんには、日ごろからお住まいの地域の河川の状態に注意を払い、水害への意識や備えを高めていただくとともに、堤防の損傷など、河川の異常に気付いた場合は、宮城県北部土木事務所や河川課までお知らせください。

**名蓋川の災害復旧**

名蓋川では、大雨により河川水位が上昇し、堤防内へ河水が浸透したため、古川矢目地区の左岸堤防3カ所が決壊しました。

**災害復旧計画**

被災箇所について、渋井川と同様に浸透対策として、川表の法面を護岸と遮水シートで覆うとともに、堤防内の浸透水を速やかに排水するために、川裏にドレーン工を設置します。

4月から復旧工事に着手し、5月までに川裏に仮堤防を設置する予定です。平成28年度の堤防完成を目指します。

**渋川の災害復旧**

渋川では、堤防越水に伴い、古川保柳地区などの堤防3カ所が決壊しました。

と同様に浸透対策として、川表の法面を護岸と遮水シートで覆うとともに、堤防内の浸透水を速やかに排水するために、川裏にドレーン工を設置します。

4月から復旧工事に着手し、5月までに川裏に仮堤防を設置する予定です。平成28年度の堤防完成を目指します。

**災害復旧計画**

被災箇所について、築堤後に川表に護岸を設置し、堤防を強化します。

4月から復旧工事に着手し、5月までに川裏に仮堤防を設置する予定です。平成28年度の堤防完成を目指します。

**その他被災箇所の復旧**

その他の被災箇所についても、復旧工事の準備を進めているところですが、準備ができ次第工事に着手します。

**災害に強い川づくりに向けて**

この度の豪雨被害を踏まえ、県では国や大崎市と連携しながら、ハード、ソフト両面の対策を一体的に進める「災害に強い川づくり」に取り組んでいます。【表1】

県の管理する各河川では、堤防の緊急点検を実施し、必要な修繕、改修を行うとともに、川に堆積した土砂や流れを妨げる樹木の撤去を定期的に行って、適切な維持管理に努めます。

避難勧告発令の判断目安となる水位を、県から市に通知する「水位周知河川」として、渋井川を新たに指定し、インターネット上で水位を確認できるテレメータ水位局の整備を進めています。また、引き続き市内の各河川についても、水防体制の強化を支援します。

大崎市民の皆さんには、日ごろからお住まいの地域の河川の状態に注意を払い、水害への意識や備えを高めていただくとともに、堤防の損傷など、河川の異常に気付いた場合は、宮城県北部土木事務所や河川課までお知らせください。

### 宮城県の気象状況

宮城県では、平成27年9月10日夜遅くから11日明け方にかけて、「線状降水帯」と呼ばれる発達した積乱雲が停滞し、東北地方で初めてとなる大雨特別警報が発表され、非常に激しい雨となりました。この雨は、古川雨量観測所

### 大崎市の被災状況

大崎市内では、河川や道路など11カ所が被害を受けました。特に渋井川、名蓋川、渋川の三つの河川では、河川

で、1時間当たり37ミリメートル、24時間当たり197ミリメートルを観測するなど、記録的な豪雨となりました。

# 平成27年9月関東・東北豪雨に伴う宮城県の河川災害対策について

水位の上昇により堤防が決壊したことなどから、市全体で建物床上・床下浸水が600棟以上におよぶ大きな被害が発生しました。

なお、決壊した三つの河川については、9月11日から随時応急復旧を実施し、渋井川は9月16日、名蓋川は9月19日、渋川は9月21日にそれぞれ

### 大崎市民の皆様へ

平成27年9月の関東・東北豪雨では、各地で観測史上最高を記録する豪雨に見舞われ、県内でも広範囲で大きな被害を受けました。特に、大崎市においては、渋井川の堤防の決壊などにより、多くの住宅が浸水し、農地や農業機械等も被災するなど甚大な被害が発生しました。あらためて、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。



県では、渋井川など県が管理する河川で甚大な被害が発生したことについて、河川管理者として重く受け止めており、復旧に全力を挙げると同時に、河川管理の見直しを進めているところです。

また、今回の豪雨による被害実態や大崎市が行う支援事業を踏まえ、被災者支援の一助となるよう、早期の生活再建並びに被災地の復興を目的に「市町村復興支援交付金」の助成を今回決定いたしました。今後とも、河川管理者として災害に強い川づくりに努めてまいりますので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

宮城県知事 村井嘉浩

### 市町村復興支援交付金

- ◆ 市町村復興支援交付金の目的  
被災者の早期の生活再建並びに被災地の復興を図ることを目的としています。
- ◆ 市町村復興支援交付金の概要  
交付金は大崎市が行う被災者支援事業などに充当されます。
- ◆ 市町村復興支援交付金による大崎市の主な事業
  - ① 住宅等災害復旧助成事業
  - ② 農地復旧助成事業

27ページの今月のお知らせに「9.11豪雨被災者支援情報」として上記の助成事業の詳細を掲載しています。